

-NEWS RELEASE-

平成29年10月13日

開学20周年記念式典を挙行します

希望される方は、式典に出席し講演も聴講いただけます



20th Anniversary
Kochi University of Technology

志の旗をより高く

高知工科大学は平成9年4月に開学し、おかげさまで開学20年を迎えました。このたび開学20周年式典を挙行する運びとなりました。是非とも貴社の報道を通じて広くご周知いただきたく、ご案内申し上げます。

高知県唯一の工科大として開学した本学は、「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学を目指す」という高い志のもと、絶えず進化を続けてきました。

20年という月日は、これからも続く長い歴史の中の序章に過ぎず、この先へと続く未来へ向け本式典を行います。

記念講演は、2015年ノーベル物理学賞を受賞された東京大学 宇宙線研究所長 梶田 隆章教授をお迎えします。



地域の皆様に感謝の意を込めまして、この節目と一緒に祝していただきたく、式典への出席と、さらに講演をお聞きいただけるようにいたしました。

開学20周年記念式典 13:00～15:15

■日時 11月4日(土) 受付12:15～

■場所 高知工科大学(香美キャンパス) 講堂

■スケジュール

学長式辞 学長 磯部 雅彦

来賓祝辞 高知県知事 尾崎 正直様

京都造形芸術大学 学長 尾池 和夫様

贈呈式

13:45～15:15

記念講演 東京大学 宇宙線研究所長 梶田隆章教授
「神岡でのニュートリノ研究をふり返って」



※取材・撮影について※

開式後の入退場はできません。

講堂内での撮影および移動は、エリア限定となります。

担当にて案内させていただきます。

当日は、12:45までに講堂受付にお越しください。

【本件問い合わせ先】

高知工科大学 企画広報部 長山・谷相

TEL.0887-53-1080

E-mail : kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp



KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

高知工科大学 開学20周年記念式典・記念講演

日時

11月4日(土)
13:00~15:15 (受付12:15~)

会場

高知工科大学
香美キャンパス講堂

PROGRAM

開学20周年記念式典

学長式辞／来賓祝辞／贈呈式

開学20周年記念講演

入場料無料

要事前申込

先着順受付

神岡での ニュートリノ研究を ふり返って

東京大学宇宙線研究所・所長

梶田 隆章 教授

(2015年ノーベル物理学賞受賞)

講師プロフィール

梶田 隆章 Takaaki Kajita

1959年、埼玉県東松山市生まれ。物理学者。東京大学教授・宇宙線研究所長、東京大学理学部附属素粒子物理国際研究センター助手、東京大学宇宙線研究所助手、助教、教授を経て現職。岐阜県飛騨市の神岡鉱山の地下1000メートルに設置された実験装置「カミオカンデ」と「スーパーカミオカンデ」を使った実験に参加した。最も小さいと考えられる素粒子のひとつのニュートリノについて、地球の大気で生まれた大気ニュートリノを観測。移動中に粒の種類が変わる現象「ニュートリノ振動」を観測してニュートリノに質量があることを発見し、1998年の国際会議で発表した。「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」により、2015年にノーベル物理学賞を受賞した。1999年に仁科記念賞、2016年に戸塚洋二賞、2012年に日本学士院賞、2015年に文化勲章受章、文化功労者。現在は、大型低周重力波観測機KAGRAのリーダーも務める。



高知工科大学
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

高知工科大学 企画広報課
Tel. 0887-53-1080
Fax. 0887-57-2000

参加のご予約は10月13日(金)よりWEBにて開始!
www.kochi-tech.ac.jp/20th/entry.html



神岡でのニュートリノ研究を振り返って

講演概要：

神岡でのニュートリノ研究が始まって既に30年以上が経ちます。この間の神岡での研究について振り返り、今後の展開を考えていきます。特にニュートリノ研究についてお話しします。また近年進めている重力波の観測に向けた研究についても、少し触れたいと思います。